

megumaが

2015.12月号... vol.91

クリスマスリース作り

ワンちゃんにやさしい
人と動物の幸せを
南関東の動物愛護推進員
第10期 皆様へ



乾燥大好き 怖いウイルス

冬のこの時期、人もインフルエンザには、よく気をつけろと心がけま
よね〜。インフルエンザウイルスも低気温・低湿度が大好きで、冬の
今頃、大流行。実はワンちゃんの感染しやすい怖いウイルスも、人の
感染するウイルスと同様、低気温・低湿度が
大好きです。ワンちゃんの予防ワクチン接種
はもちろのこと、室内の加湿器設置も
大切ですよ。人も犬も50%~60%位の快
適湿度で、冬も元気に過ごしましょう♡



編集長も
初めて作った
フレッシュリース



クリスマスが近づいて、玄関ドアにクリスマスリースが掲げられているのを

目にすることが増えました。私も毎年、気に入っているリースを飾っていたのですが、お花の先生をして
いる友人から「リースは本来、毎年新鮮なもので作るよ〜」と聴いてビックリ！日本と言うならば、
お正月のお供え餅やしめ縄、門松...というように、毎年新鮮なものを神仏に捧げることと同じだそうです。
そもそもリースとは、花冠や花輪のこと。ローマ帝国時代には、祭事の際の女性の冠として身につけられていた。
リースは切れ目のない輪の形であることから、永遠の生命の象徴・永遠の愛の象徴。これは、結婚式(愛)のサナイズ、葬儀
(生命)の場にも用いられるものなのです... 諸国の文化を知る、奥深くおもしろいですね♡

クリスマスのリースに使われる定番カラーにも意味があります。(赤)キリストが十字架の上で流した血を表し、深い愛を象徴。
(緑)一年中葉を落さない常緑樹から永遠の命を象徴。(白)汚れのない純真な美しさ、清かさの象徴。(金・銀)希望や
富・高貴なものの象徴。カラーの意味を知って、リースに飾りつけをすれば、クリスマス以外にもリースの用途が広が
りますね♡ 今回、毎年作るのが本来のリースと教えてくれた友人に教室を開いてもらい、初めてフレッシュリースを作りました。

新鮮でとても香り高い数種類の常緑樹を短く切って、ワイヤーで巻きながら輪を作っていきます... なかなか
初めてで、むずかしかったのですが、何とか形になりました♡ 飾りには、お花の先生のフリース(ドライ)やスライス(エトワ)を
付け、リボンは大きめに♡ 今、会社に飾りがあり、近々通る森林浴(23区)はリラックス効果も♡
←制作風景



フレッシュリース作り、かなり鬼ごっこみたいで楽しかったです♡ 次はバレンタイン用に作る予定です♡

閉まっているけど 営業中〜



お店のシャッターに落書きされてしまいました。



経年で大いぶ傷んできたこともあり、思い切って取り替えることに...

- (A案) 今までと同じ、お店の中が見えないシャッターにする。
- (B案) お店の中が見える、パイプ型のシャッターにする。

ご予算の都合がありますので、両者を提案。

工事金額は(B)が(A)の1.5倍。

ご希望予算からかけ離れていましたが、お客様は(B)を選択されました！

実は私も内心そうすべきと考えておりました。

理由①・・・シャッターに再び落書きされるリスクを回避。

理由②・・・美しい商品を扱っておられるので、営業時間外でも見せるべき。



いかがですか？

なぞなぞみたいですが、『閉まっているもしっかり営業』されていますよね！

港行元 mezuマカ焼肉部
鬼建設(株)
新宿区新宿1-10-4
Tel. 03-3350-6689
Fax. 03-3350-8186